

知床羅臼フットパスクラブ

エコツーリズム検討会議第一回部会会議

日時	2018年10月18日(木) 14時～15時		
会場	羅臼町役場二階大会議室		
出席者	検討部会構成員		
	知床羅臼フットパスクラブ	代表 高島	副代表 村田
	羅臼漁業協同組合	天野部長	
	知床森林生態系保全センター	稲川所長、早川専門官	
	根釧東部森林管理署	武隈森林官、他1名	
	環境省らうす自然保護官事務所	守自然保護官	
	(公財)知床財団羅臼地区	田澤次長	
	知床羅臼観光協会	若林事務局長	
	羅臼町役場 産業創生課	遠嶋係長、川上書記	

【検討内容】会議録

エコツーリズム検討会議で科学委員より指摘された事項を検討

- ① どのような人たちに、どのように利用させるのか。
 - ・健康な人、子供から大人まで幅広く利用させたい。
 - ・「知床半島先端部地区利用の心得」を遵守できる人に利用してもらいたい。
ルールやマナーがあることを伝える必要がある。
 - ・番屋(昆布漁)の前を通過する際、昆布の干場に踏み入れさせてはならない
 - ・カモユンベ川の橋はない。川幅約2M、深さ30～40cm 渡渉する力も必要。
 - ・環境省としては、利用を推進する場としていないので、看板等の設置許可は難しい。
- ② フットパスの定義にふさわしい環境か。
 - ・様々な景観を歩き楽しむのがフットパスであると認識しており、合致している。夏場は昆布漁の営みも見られる。
 - ・同じ海岸線であれば、なぜ相泊以北を設定したいのか理由を明らかにさせること。(根室管内では、牧草地でのフットパスが多い中、羅臼町では海岸線が魅力的であり、とりわけ相泊、観音岩間が、雄大でダイナミック。)
 - ・石狩海岸もフットパスとして認定されているので参考になる。

③ 来訪者をどのように管理するのか。

- ・ 先ず、ルサ FH、ビジターセンターに立ち寄らせるよう周知する。現在行っている先端部利用に関するレクチャーを受けてもらいたい。また、現地の情報を確認してもらいたい。
- ・ ルサ FH は環境省と羅臼町の委託業務で実施している。フットパスの広報で安易な入込が増えた場合、本来レクチャーすべき人へ手厚いレクチャーが出来なくなることが想定される。フットパスサイドでもそのようなことが少なくなるような周知を考えてほしい。
- ・ どのような媒体で周知するか、また、コースは体力、装備も考えて、3区分に分けるなど検討しても良いのでは。
- ・ どのルートを設定するのか、しっかりと図示すること。私有地や国有地を通過するのかわからないのか、把握しなければならないのではないのか。
- ・ 怪我やヒグマ対策はどのようにするのか。

その他

2回目のエコツーリズム検討会議は令和元年9月30日(月)を予定しています。その場で検討状況を報告できるようにしたい。

承認されなければ更に部会を開催し、課題解決を行いたいと思います。